



—東地中海地域ニュース—

シリア：4月25日の国内情勢

(26日付ワタン紙ほか)

1. ダラア制圧に関する軍の発表 (26日付現地各紙)

軍当局は次の発表を行った；

ダラア住民より救援の求めがあり、軍の介入によって、住民に対する狂信的なテロ集団による殺人、破壊、恐怖の阻止が求められていることに応じ、25日朝、軍はダラアの街に入り、平静を取り戻し、治安と日常生活が回復するよう努めている。また軍は、治安部隊と共にこの集団を捜索しており、既に複数の構成員の逮捕、および多数の武器・弾薬の押収が行われた。この過程で軍と治安部隊に死傷者が発生し、また狂信的テロ集団にも複数の死傷者が発生した。

2. 国内各地の情勢 (26日付ワタン紙)

(1) ダラア

複数の消息筋によると、25日夜明けに、シリア国軍がダラアおよび県内の村に入った。これは、7名の治安部隊要員が殺害され、その遺体が損傷された後に行われた。ダラアの街では通常の電話線および携帯電話が通じなくなっている。

(2) ダマスカス郊外県

ドゥーマでは電話回線が通じない状況が続いているが、銃声も止み、平静な状態がもたらされている。また、ムアッダミーヤでも25日、平静が保たれ、何ら衝突も起きなかった。

(3) ホムス

ホムスでは日常生活が回復し、商店も開き、生徒は学校に戻り、この48時間はいかなる事件も発生していない。

(4) ジャブレ

ジャブレでは武装集団が車に乗り、無差別な射撃を行いながら街中を走り回り、治安部隊要員3名が死亡した後、軍が展開し市民の平和を保った。極めて緊張した状態が続いたものの、25日には緊張感が伴う静けさが広がった。ただし近郊のファイドでは、ヘルスセンターが略奪にあっている。